

子どもの読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）表彰式を開催しました

文部科学省では、独立行政法人国立青少年教育振興機構と共催し、例年、「子ども読書の日」（4月23日）を記念し、「子どもの読書活動推進フォーラム」を開催し、併せて、文部科学大臣表彰の表彰式を行っています。

これは、平成14年度から国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について優れた実践を行っている学校、図書館及び団体（個人）を顕彰しており、優秀実践校137校、優秀実践図書館47館、優秀実践団体53団体及び優秀実践個人4名が受賞しました。

表彰式では義家弘介文部科学大臣政務官が主催者を代表して挨拶し、その後、来賓として、子どもの未来を考える議員連盟の河村建夫会長から御祝辞を頂き、さらに、241名の表彰者を代表し、次の方々が義家弘介文部科学大臣政務官より表彰を受けました。

【代表校・図書館・団体（個人）】

- ・ 由布市立西庄内小学校（大分県）
- ・ 三重県立宇治山田商業高等学校（三重県）
- ・ 山形村図書館（長野県）
- ・ いっちゃん会（山形県）



〈挨拶する義家文部科学大臣政務官〉



〈島田洋七氏による基調講演〉

また、漫才コンビB&Bとして八十年代の漫才ブームの先駆者で、現在は漫才師としての活動の傍ら、講演執筆活動にも精力的に取り組み、著書「佐賀のがばいばあちゃん」の島田洋七氏より、「子どもの頃の読書は、豊かな人生の第一歩」をテーマに基調講演を頂き元気をもらいました。

最後に、文部科学大臣表彰者を代表して前記の学校等から、日頃の活動内容や取組に関して事例報告が行われ、450名を超える参加者が今後の参考にしようと真剣に耳を傾けていました。